

特集

岡谷市民病院

待望の建物完成！



設を最終目標とする病院統合・再編事業に取り組んできております。

平成18年の経営統合及び地方公営企業法の全部適用、平成22年4月の施設集約を経て、翌年2月には新病院の骨格となる「岡谷市新病院建設基本構想」を策定するなど、着実に段階を進めてまいりました。

そして、いよいよここに「岡谷市民病院」の落成を迎えることができましたのも、関係の皆様をはじめ、市民の皆様のご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

建設に際しまして、長野県地域医療再生事業をはじめとする各種補助事業の採択を受け、また岡谷市民病院建設基金には市民をはじめとする多くの方々からご寄付をいただくなど、新病院に寄せられる想い、期待の大きさを実感しているところであります。

今後におきましても、市民の皆様様の生命と健康を守る岡谷市民病院を中心に地域医療体制の充実・強化に全力を傾注し、本市の「安全・安心のまちづくり」を進めてまいりますので、変わらぬご理解、ご支援をお願い申し上げます。

岡谷市長 今井 竜五

新病院建設の道のり

- 平成15年度
岡谷市病院懇話会の設置
- 平成16年度
岡谷市病院懇話会から「早期に統合」の提言
- 平成17年度
岡谷市病院基本構想の策定
- 平成18年度
岡谷市病院統合基本計画の策定
統合の進め方を提示 施設統合として
新病院建設を検討
- 平成19年度
経営統合の実施
診療科目の統合と機能分担の推進
- 平成20年度
新病院建設予定地の選定
文化センター跡地を建設予定地とし、
現岡谷病院敷地を病院駐車場等で利用
- 平成21年度
岡谷市病院改革プランの策定
市長部局に新病院建設準備室を設置
新病院建設基本構想策定検討委員会の
設置
- 平成22年度
施設集約により新たな体制で市民病院
がスタート
市民病院の新たな基本理念、基本方針
を制定
新病院建設基本構想の策定
- 平成23年度
病院事業に新病院建設室を設置
プロポーザルにより新病院建設設計業
務業者を選定
基本設計完成
- 平成24年度
実施設計業務
文化センター跡地の蚕糸博物館、美術
考古館、旧婦人の家、市営住宅と医師
住宅を解体
市民投票により新病院の名称を「岡谷
市民病院」に決定
- 平成25年度
新病院建設事業工事入札・着工
安全祈願祭・地元説明会
- 平成26年度
太陽光発電設備設置工事着工
- 平成27年度
解体工事・敷地整備工事発注
建物引取り
落成式・見学会を実施
(工期：平成28年12月末まで)

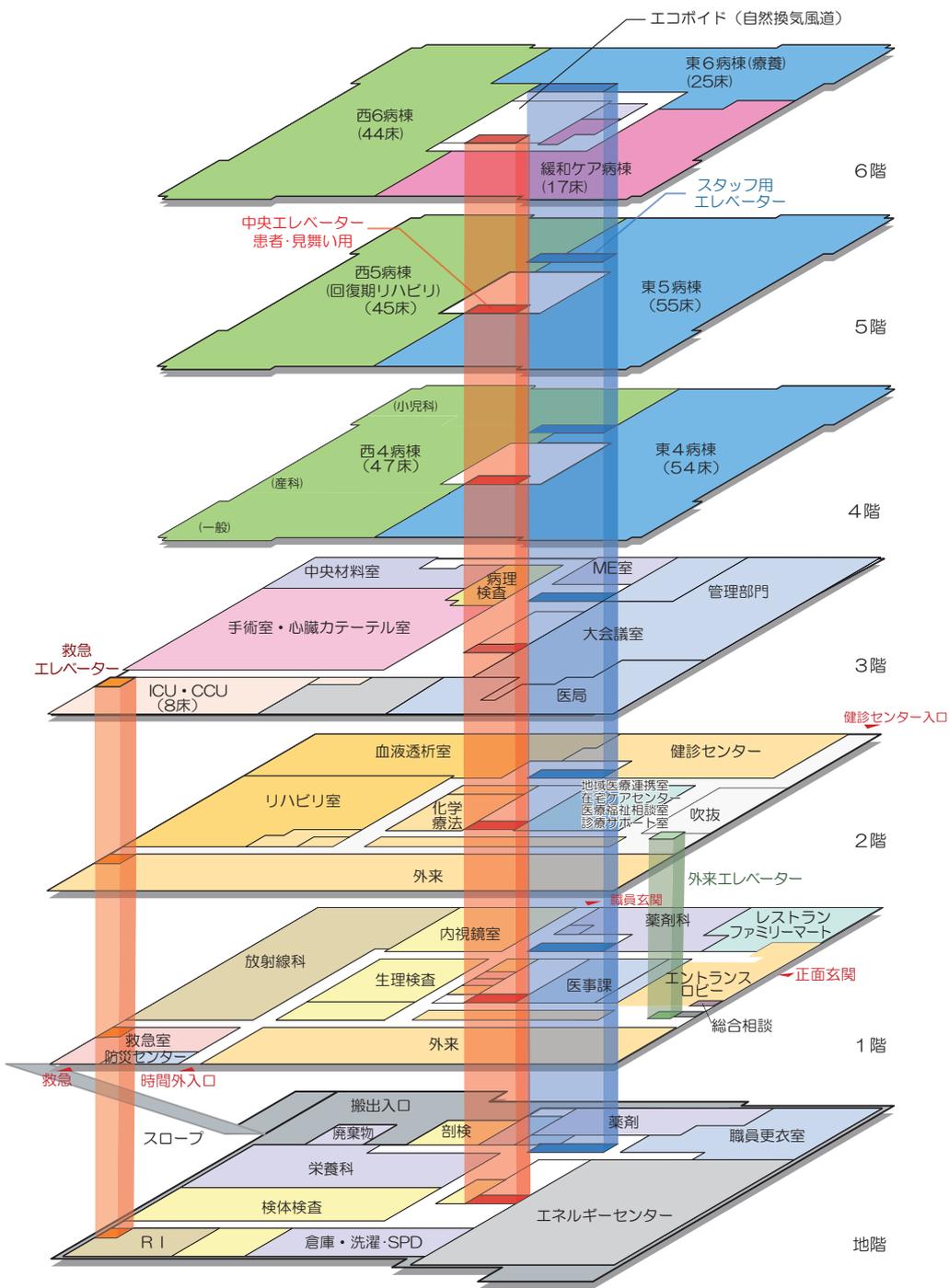


岡谷市民病院シンボルマーク
Okaya City Hospitalの頭文字「OCH」
をデザイン。岡谷市の市花のつつじの
色をイメージしています。

開院目前の新病院をいち早く紹介！

わたしたちが待ち望んでいた「岡谷市民病院」が、まもなくお目見えします(10月開院予定)。現在は、医療設備を整え、心温まる患者サービスに向けた最終の準備が進んでいます。いい病院はできました…さあ、これからが本番です。わたしたち市民の誇りとなる病院に、安全安心のまちのシンボルに、しっかりと育てていかなくてはなりません。親しみと信頼を寄せ、夢と希望を持って、みんなで見守っていきましょう。

(病院の詳しい案内は、9月末発行の岡谷市民病院広報誌「お〜えん新病院特集号」をご覧ください。)



1階

吹抜けのエントランスロビーから、外来や薬局窓口などがひと目で見渡せるわかりやすいレイアウトが特徴です。



[Leoの魔法]原画



エントランスロビー

武井武雄の刊本作品「Leoの魔法」をモチーフに、地元のアーティストたちが協力して制作したレリーフが目をはびきます。



外来診察

1階には、総合診療科、内科、精神科、整形外科を配置。A～Eの5ブロックで受付。外来診察室や検査室へは、番号による呼び出しシステムでご案内します。

2階

吹き抜けに面した、エレベーター、階段に近い位置に、地域医療連携室、在宅ケアセンター、診療サポート室、医療福祉相談室があります。



健診センター

外部から直接出入できる専用玄関を設け、患者さんと動線の交差が少なくなるようにしています。マンモグラフィが新機種になります。



リハビリテーション室

快適で効果的なリハビリのため、ゆったり広いスペースを確保。心臓リハビリテーションの機器、言語聴覚室の防音、調理訓練用のキッチンなども導入します。

血液透析室

外来患者さんとの動線交差が少ない静かな環境に30床を配置。



化学療法室

関連が深い診療科に近接し、10床のベッドを配置。



外来診察

2階には、外科、内科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、小児科を配置。新設の特殊歯科・口腔外科はおもに入院患者さんに対応します。

3階

外来や検査のフロアと病棟フロアのあいだに手術処置部門のフロアを配置しました。1階の救急室とは専用エレベーターで直結します。



中央手術室

一般手術室2室・バイオクリーンルーム1室・ハイブリッド手術室1室（手術台と心・血管X線撮影装置を組み合わせた手術室）の4室のほか、血管造影室（心臓カテーテル室）、結石破碎室を配置。病理検査室と中央材料室を同部門に配置し、動線の利便を向上。専用の家族控室、医師との面談室も整えました。

ハイブリッド手術室



救急室(1階)



大会議室

講演会などの催しができる大会議室。（収容人員200名・分割使用に対応）



ICU・CCU

個室2室を含む計8床。天井から電源をとるシーリングレールシステムを採用し、床はスツキリ。

4～6階

4階から6階に7病棟をレイアウト。各スタッフステーションを中央に配置した「口の字型」により、病室との動線を短縮。病状説明などを行う説明室も各病棟に配置しています。

病棟・病室

病室は個室、2人床、4人床。療養環境を向上させています。

多床室のトイレは廊下に配置し、車イス使用可能です。転倒への安全対策として、クッション性のある床材を採用。



個室



スタッフステーション



デイルーム